

花の実ごころ情報



ダイダイ 橙
ミカン科 ミカン属
学名：Citrus aurantium
常緑樹広葉樹高さ5～6m

原産は、インドやヒマラヤ地方。中国から伝来し、室町時代後期になって普及したと推測される。成熟しても落果せずに新旧の実が同一樹で見られることから、

家が代々続く様に願いをこめ縁起を担ぐことを目的として正月の鏡餅やお飾りに利用される。花は白い五弁で、4月下旬から咲き始める。食用については、香りは良いが、酸味と苦みが強いいため、果汁はポン酢、皮はマーマレードやピールに加工して利用される。皮は乾燥させたものを漢方薬では橙皮と言う。

また、精油の原料としても利用され、ネロリ油(花)ビターオレンジ(果皮)プチグレン(未熟な実・葉・枝)の3つの香りをもつ。一方、八丈島では「カブツ」と呼ばれ島焼酎と苦みのある果汁を混ぜて飲むのが島のスタイルです。

動画共有サービス YouTube にて各公園の情報を発信しています。
YouTube サイトで検索 Q マークに「東京都公園協会」、「TOKYO EAST PARK」、「西武・パークレンジャー」と入力してください。

イベント情報

都立公園イベント情報については

または、下記のアドレスにアクセスしてください。

https://www.metro.tokyo.lg.jp/event/index_calendar.html

◇花の見ごころ情報は、年6回(2ヵ月ごと)の発行を予定しています。

◇花の見ごころ情報のホームページ

<https://www.kensetsu.metro.tokyo.lg.jp/jigyo/park/hananomigoro/index.html>

または、花の見ごころ情報東京都建設局で検索してください。過去の情報もご覧いただけます。

東京都建設局公園緑地部 03-5320-5372.5365

リサイクル適性(A)

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

印刷物規格表第1類

登録番号 (3) 43

花の見ごころ情報

2022
1・2

今月の花



ロウバイ



ウメ (紅梅)



カンヒザクラ



フクジュソウ

Android 版

iOS 版

都立公園散策アプリ「Tokyo Parks Navi」



今月の花

ロウバイ (蠟梅・臘梅) ロウバイ科 ロウバイ属 学名 *Chimonanthus praecox*

原産は中国で、落葉小高木 高さは2~4mに成長する。

ロウバイは、旧暦の臘月(12月)に、蠟細工を模した黄色い梅の様な半透明の花を咲かせることから名が付いたと言われ、香りがとても良いことでも知られている。

英名では「Winter sweet」と呼ばれ甘い香りが楽しめる。「蠟梅」の主な香り成分は、ボルネオール、リナロール、カンファー、ミネオール、ファルネゾールなどの成分が絶妙にブレンドされていて、強度3の強い香りで長い期間楽しませてくれます。

ロウバイの花と香りは、小宮公園、武蔵野公園、殿ヶ谷庭園、神代植物公園、小石川後楽園、旧芝離宮恩賜庭園、芝公園などで楽しめます。

カンヒザクラ (寒緋桜) バラ科 サクラ属 学名: *Cerasus campanulata*

原産は中国南部、台湾、沖縄、鹿児島県に自生する落葉高木で、高さは10m程に成長し、暖かい地方で見られるサクラである。

年越し前に開花するジュウガツザクラを除けば、他のサクラよりも一番早く開花し、寒の時期に見頃を迎えるのが特徴である。東京から南へ千キロ離れた小笠原では、1月下旬にお花見を楽しむことができる。都内に植栽されているものについては、ソメイヨシノより一足早い3月中旬に見ごろを迎える。

カンヒザクラ1月は、大神山公園、3月は、小金井公園、神代植物公園、大島小松川公園、清澄庭園、中川公園などでご覧いただけます。

フクジュソウ (福寿草) キンポウゲ科 フクジュソウ属 学名: *Adonis vernalis*

原産地は、日本、朝鮮半島、中国の明るい落葉樹林等に自生する草丈20cmほどの多年草。旧暦の正月頃に黄金色の花を咲かせるので、新年を祝福する花として福寿草と命名され、元日草、朔日草(ついたちそう)、賀正蘭など多くの別名を用いることもある。

花は朝日とともに開花し、陽の光を追って動き陽が陰ると閉じるため、観察は晴れた日の午前中が見ごろ。

フクジュソウは、小山田緑地、小山内裏公園、小宮公園、桜ヶ丘公園、府中の森公園、小金井公園、神代植物公園、殿ヶ谷庭園、野川公園、井の頭恩賜公園、蘆花恒春園、砧公園、旧岩崎邸庭園、林試の森公園、向島百花園、水元公園などでご覧いただけます。

ウメ (梅) バラ科 サクラ属 学名: *Prunus mume var. purpurea*

原産は中国、落葉高木で樹高は5~6mほどに成長する。

日本への伝来は、弥生時代の遺跡から梅の遺物が出土するなど、稲作技術と共に伝わったと考えられている。また、お花見と言えば桜であるが、平安時代以前のお花見は梅であった。

ウメは、野梅系(野梅性、難波性、紅筆性、青軸性) 緋梅系(紅梅性、緋梅性、唐梅性) 豊後系(豊後性、杏性)「3系9性」に分類される。

江戸時代に入ると水戸藩主の光圀が江戸屋敷に梅園を設けることにより武士間でも梅を楽しむようになる。また、梅は花を楽しむだけでなく、梅干しとして利用され当初は薬用として珍重されていた。

ウメは、殿ヶ谷庭園、小金井公園、武蔵野公園、神代植物公園、井の頭恩賜公園、蘆花恒春園、砧公園、林試の森公園、小石川後楽園、夢の島公園、向島百花園、清澄庭園、などでご覧いただけます。

●小山内裏公園	町田市小山ヶ丘4-4	☎042-676-8865
●小山田緑地	町田市下小山田町361-10	☎042-797-8968
●小宮公園	八王子市暁町2-41-6	☎042-623-1615
●桜ヶ丘公園	多摩市蓮光寺5-15	☎042-375-1240
●武蔵野公園	府中市多磨町2-24-1	☎042-361-6861
●府中の森公園	府中市浅間町1-3-1	☎042-364-8021
●殿ヶ谷庭園	国分寺市南町2-16	☎042-324-7991
●小金井公園	小金井市関野町1-13-1	☎042-385-5611
●神代植物公園	調布市深大寺元町5-31-10	☎042-483-2300
●野川公園	三鷹市大沢6-4-1	☎0422-31-6457
●井の頭恩賜公園	武蔵野市御殿山1-18-31	☎0422-47-6900
●赤塚公園	板橋区高島平3-1	☎03-3938-5715
●中川公園	足立区中川5-1-1	☎03-3629-8164
●水元公園	葛飾区水元公園3-2	☎03-3607-8321
●小石川後楽園	文京区後楽1-6-6	☎03-3811-3015
●旧岩崎邸庭園	台東区池之端1-3-45	☎03-3823-8340
●向島百花園	墨田区東向島3-18-3	☎03-3611-8705
●横綱町公園	墨田区横綱2-3-25	☎03-3622-1208
●蘆花恒春園	世田谷区粕谷1-20-1	☎03-3302-5016
●砧公園	世田谷区砧公園1-1	☎03-3700-0414
●林試の森公園	品川区小山台2-6-11	☎03-3792-3800
●芝公園	港区芝公園4-10-17	☎03-3431-4359
●旧芝離宮恩賜庭園	港区海岸1-4-1	☎03-3434-4029
●清澄庭園	江東区清澄3-3-9	☎03-3641-5892
●夢の島公園	江東区夢の島2-1-2	☎03-3522-0281
●大島小松川公園	江東区大島9-9	☎03-3636-9365
●大神山公園	小笠原村父島宇西町	☎04998-2-7170